

きよみづ

清水へ



字余り

※五・七・五・七・七よりも文字数が多いこと

ぎをん

祇園をよぎる

さくづきよ

三句切れ

※句切れとは意味の切れ目

イ あ ウ

こよひ逢ふ人



みなうつくしき

おぼろ月夜と桜を合わせた  
ことば

与謝野晶子

『みだれ髪』

清水に行こうと

祇園を通り過ぎると、  
おぼろ 朧月夜に桜が咲き誇っている。

今夜すれちがう人々は、  
みんな美しく見える。

ズ

ゴギョウ

せりなずな ぐぎやうはこべら ほとけのぎ

すずな すずしろ これぞ七草

一月七日は人日の節句といひ七草がゆを食べる風習があります。

### 春の行事

上巳の節句・・・三月三日。桃の節句ともいう。ひな人形をかざる風習がある

春分・・・三月二十一日頃。昼と夜の長さがほぼ同じ長さになる日